

2025年4月7日

東洋スチレン株式会社

デンカ株式会社スチレン系材料の資源循環システム「D-NODE™」ブランドについて
～資源循環によるサーキュラーエコノミーの実現に向けて～



筆頭株主（株式保有率：50%）であるデンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：石田 郁雄）におきましては、持続可能な社会の実現を目指し、グループ独自の資源循環システムブランド「D-NODE™（ディーノード）」を立ち上げました。「D-NODE™」は、使用済みポリスチレン製品やバイオマス原料を活用し、スチレン系材料の再資源化と再製品化を推進するブランドです。

当社は、デンカ社と共同し、2024年3月よりデンカ千葉工場（千葉県市原市）でポリスチレンケミカルリサイクルプラントの稼働を開始しました。同年7月からは千葉県市原市との事業連携協定のもと、使用済みポリスチレン製品の拠点回収を実施しています。

「D-NODE™」ブランドの下、自治体やステークホルダーとの連携や最新のリサイクル技術により、持続可能な社会の構築に貢献するとともに、ケミカルリサイクルやマテリアルリサイクルを含む適切なりサイクル方法を駆使し、資源循環によるサーキュラーエコノミーの実現を目指してまいります。

当社は、これからも「信頼と技術」の東洋スチレンとして、コンプライアンスファースト・安全第一の基本方針を堅持し、広く社会に貢献してまいります。

以上

■D-NODE™について

サーキュラーエコノミーを実現する独自の資源循環システム

「D-NODE™」は、デンカグループ独自の資源循環システムの総合ブランドです。

“スチレンチェーンと適切なりサイクル方法による独自の資源循環システムがより大きなサーキュラーエコノミーを生み出していく。”をコンセプトに、「D-NODE™」が、様々な取り組みとつながることで、循環の輪を広げ、サステナブルで豊かな人々の暮らしと社会に貢献していきます。

■ブランド名「D-NODE™」とロゴについて

ブランド名には、「結び目、接点」を意味する英単語「NODE」を用いました。スチレン系材料の複数の循環の結び目(NODE)にデンカグループがなるという思いを込めています。「D-NODE™」を通じて顧客と当社がつながりスチレンが循環していく、様々な接点がネットワークのように広がっていくことを目指していきます。

ブランドロゴは「D」と「NODE」をつなぐ「-」で電源アイコンをイメージして制作しました。これから始まる未来に向けてデンカグループが電源ボタンのような役割になることを表現しています。

D-NODE（文字及びロゴ）はデンカ株式会社の商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

管理本部 電話：03-3519-5600

【お客様からのお問い合わせ先】

サステナビリティ本部または営業本部 電話：03-3519-5602